

022

法人向け総合防災支援アプリ「クロスゼロ」

取組主体

株式会社建設システム

従業員数

想定災害

実施地域

452人

全般

静岡県

・企業の防災対策として、災害時から日常まで幅広いシーンで活用でき、非常時にすぐに社員が使いこなせる法人向け総合防災支援アプリ「クロスゼロ」をリリースした。

1 取組の概要

2022年9月「クロスゼロ for ビジネス」のリリース

- ・建設業向け施工管理ソフトウェアの開発を手掛ける株式会社建設システム（KENTEM）は、誰一人取り残さない防災対策を実現することを目指し、法人向け総合防災支援アプリ「クロスゼロ」を開発、リリースした。
- ・クロスゼロは安否確認や防災情報など災害時に役立つ機能のほか、掲示板やチャット、家族機能など日頃から活用できる機能を多く搭載することで、緊急時のよりスムーズな自助・共助を目指す。



アプリイメージ

2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

フェーズフリーな設計構想

- ・災害が多い日本では、多くの企業がBCP対策（企業のリスクマネジメントの一種）に取り組んでいる。しかし、その多くが安否確認程度にとどまり「いざという時」にしか使われないサービスであるのが現状であり、社員を守るための事前対策には適していない。そのため、クロスゼロでは日頃から防災と向き合う意識を持ついわゆる「フェーズフリー」の考えをもとにサービスを設計した。



フェーズフリーの考え方

- ・具体的には、災害発生時の早期事業復旧だけでなく、法人の日常業務での連絡や情報共有も含めて支援している。
- ・組織・グループごとにチャットや掲示板で連絡を行うことができるので、業務連絡や社内通達から、災害発生時には被災状況の共有や支援活動の推進など組織としての連絡ツールとして幅広く利用することができる。
- ・また、地域・エリア・事務所ごとに安否確認や備蓄管理を行うことができるので、拠点が複数ある組織でご利用できるようになっている。

社員の家族も守る

- ・社員自身を守るだけでなく社員の家族の安全をも視野に入れており、チャット機能や家族機能により、社員の家庭を守るサポートも担う。

3 取組の効果

2022年9月に発生した台風15号の際の実際の効果は3つ

- ・すみやかな安否確認のために気象情報と連携して自動で安否確認を配信したこと
- ・給水所の場所や混雑具合を掲示板機能の活用により伝達・共有できたこと
- ・各オフィスの支援物資情報を掲示板機能の活用により伝達・共有できたこと

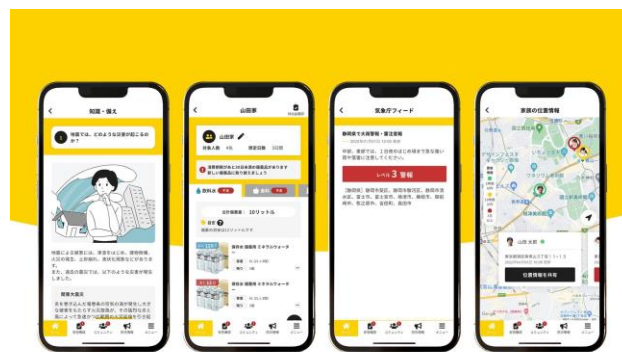
4 取組への思い

「平時の備え」「災害時の行動」「情報伝達」をワンストップへ

- ・ 平時、災害時、災害後の3つのシーンにおいて必要な機能や情報は異なるが、それぞれが繋がることで被害を最小限に抑えられると考える。しかしクロスゼロの開発当時、既存のサービスでは、これらが別のサービスに分かれている、「災害時」のサービスにとどまっているなどの問題点が見受けられた。したがってサービスの力が最大限発揮させられず、情報が効率的に共有できないといったケースも少なくなかった。
- ・ この問題を解決したいという想いから、災害の備えを一つに統合したサービスの開発をスタートさせた。災害時だけでなく日常でも活用することで機能全般に馴染みが生まれ、緊急時でも慌てることなく対応ができるのではと考えている。

「防災トリセツ」の搭載

- ・ 災害発生前からの防災教育として、防災知識と対応力を身に付けるため「防災トリセツ」の共有や、防災訓練に役立つ安否確認の手動配信や予約配信を実装。災害に対して日頃から備える意識が、災害時の対応の早さへと繋がる。
- ・ 防災教育の重要性は大人のみではないという想いから、小学校の授業でクロスゼロを活用するなど活躍の場を広げている。



主な機能

5 防災・減災以外の効果

- ・ クロスゼロ内の機能である、アンケートや掲示板、チャット、ファイル共有機能は、企業の情報伝達やコミュニケーションツールとしても活用されている。さらには、家族機能を活用して日頃から家族間でスケジュールの確認をおこなう家庭もある。

6 現状の課題・今後の展開等

- ・ 線状降水帯の発生や記録的短時間大雨情報など、想定外な気象災害が増えており、すべてに対応するためにはアップデートの必要がある。
- ・ 想定外の災害からもいち早く情報をキャッチして対策を示し、誰一人取り残さない防災対策を実現するために機能のアップデートを継続していく。

7 周囲の声

- ・ 「今までの防災システムは、使う頻度が極端に少ないため大事な局面でシステムが存在に気付かない社員が多いことが問題であった。しかし、クロスゼロは平時から利用できるサービス内容であり、アプリの活用が習慣化されるため、災害時にも非常に有効である。」（利用者）
- ・ 「自動で送られてくる備蓄品の消費期限通知機能は、ほかのシステムにはない便利な機能である。」（利用者）

担当者の声

・ 近年は予見できない気象災害が増加しているため、ますます企業の災害対策が重要になります。クロスゼロは単なる安否確認だけでなく、災害対策に必要な機能を多数搭載した総合防災サービスです。災害時の早期事業復帰から、日常の業務連絡まで幅広いシーンで活用してもらいたいと考えています。

問合せ先

動画

サイト URL

株式会社建設システム（KENTEM） 法人番号：7080101008465
 電話番号：0570-200-787
 E-Mail：xzzero@kentem.co.jp
 URL：https://www.kentem.jp/

